

授業科目	解剖学基礎実習				
担当者	山田 隆人 (実務経験者)				
実務経験者の概要	診療所、訪問看護ステーションにて作業療法士として勤務				
学科名	作業療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

骨格や筋などの運動器官の解剖学的知識の習得は、作業療法支援を行う上で必要となる。講義では、骨格、関節靭帯、筋系の形態を機能に関連付けて理解を深める。

## ■ 到達目標

骨格の位置や構造、作用を理解できる  
 関節靭帯の構造や作用を理解できる  
 筋の位置や構造、作用を理解できる

## ■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション、解剖学総論
- 第2回 骨学総論
- 第3回 骨学各論：頭蓋、脊柱、胸郭
- 第4回 骨学各論：上肢、下肢
- 第5回 関節靭帯総論
- 第6回 頭頸部、体幹の関節と靭帯
- 第7回 上肢の関節と靭帯
- 第8回 下肢の関節と靭帯
- 第9回 筋学総論
- 第10回 上肢帯、上肢の筋
- 第11回 前腕・手の筋
- 第12回 下肢帯・大腿の筋
- 第13回 下腿・足の筋
- 第14回 頭頸部の筋
- 第15回 胸腹部・背部の筋

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）50%】 課題及び実技テスト50% 試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

実技と教科書資料を確認しておくこと

## ■ 教科書

書 名：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第4版  
 著者名：野村巖 編集  
 出版社：医学書院

## ■ 参考図書

書名：ネッター解剖学アトラス

著者名：相磯貞和 訳

出版社：南江堂

## ■ 留意事項

基本的な人体の構造を学びます。内容は国家試験で求められる内容を基本としています。

作業療法士の国家試験では、出題数が多い教科です。しっかり学びましょう。

## ■ 講義受講にあたって

講義では、受講者の体を用いて、触診等を行い確認します。触診がしやすい服装をお願いすることがあります。